

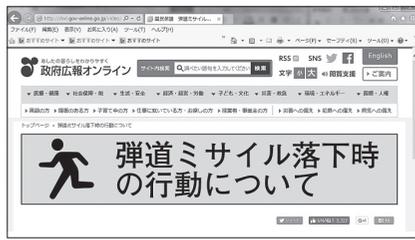
# 北朝鮮「危機」と安倍政権

## 政治学者・浅井基文氏に聞く

トランプ政権の一時のチキンレース的な対応には変化も見えてきた。米歴代政権と比較した場合のトランプ政権の特色は、思想がないという点だ。特に反共イデオロギーもないので、「独裁政権」「共産政権」という理由で金正恩政権の存続を認めないという判断をしない。「損得勘定」で物事を判断するということだ。

トランプ政権の要求は朝鮮(北朝鮮)の非核化だ。5月中旬にフルウェーのオスロで米朝が非公式に会談を行った。もし朝鮮側が「米朝は金政権の転覆をめぐらぬでいい」という点に確信を持てるならば今後、米朝の直接協議など事態が動く可能性はある。

一方で中国と北朝鮮との関係は悪化しているといわれている。しかし中国は、政權転覆をめぐらむ米朝への報復力を持つことが朝鮮の核開発の本



ミサイル落下時の行動を知らせる政府広報HP

## 緊張を無くしたい米中韓

質であり、その目的は政權維持ということを理解していたから、強く反対してこなかった。

その対応が変化した最大の理由はトランプの対朝鮮政策だ。金政権の転覆を目的とはしない、核を放棄させることが目的だとする対朝鮮政策をまとめ、米中首脳会談で持ち出した。習近平中国共産党総書記はその政策に可能性を見いだし、「政權の存続を保障することを見返りとして、核ミサイル

でも金政権からすれば、簡単に対米認識を改められるはずがない。それが中朝関係の緊張の最大原因だ。

事態が変化する中、日本政府が求められる対応は？

2002年の平壤宣言のラインまで立ち戻ることだ。安倍政権は事あるごとに「拉致問題の解決なくして国交正常化なし」と言ってきたが、これがま

# ラグビーと「楳縁」

中西 幹夫 (東大阪市)



リリースエッセイ 315



ラグビーとの出会いは物心ついたころ。生まれてすぐと言っても過言ではない。父は大学時代にラグビー部に属していた。家のテレビではラグビー番組があると必ずチャンネルがセットされていた。東大阪の花園ラグビー場にも小学校入学前

後の年齢で連れて行かれた。ルールがわからず、父を質問攻めにしたことをはっきりと記憶している。

高校時代には、元日本ラグビー協会の重鎮で多くのラグーマンが師と仰ぐ監督の指導を受けられた。母校の卒業生には一流プレイヤーが多く、日

本代表に選ばれた後輩もいる。私の誇りだ。古い伝統を有する大阪歯科大学のラグビー部では、さらに多くの素晴らしい先輩や後輩とも出会い、支え合い、自分を高められた。今でも付き合っている。

卒業後、ケガが伴うラグビーを意図的に避けた時期があった。そのせいか、精神的に病んでしまった。ラグビーがストレスの発散や元気の源になっていたことを身をもって知り、ピッチから離れたことを悔やんだ。

その後、東大阪で開業し、ラグビーとの距離が再びぐんと近づいた。今では正月はほぼ毎日、全国高校ラグビーの観戦で「花園」に通い続けている。ラグビーつながりの集まりがあれば出来るだけ参加し、仲間と楽しい時間を過ごしている。

ラグビーワールドカップ(W杯)が2019年に「花園」で開催されることになり、私の胸は躍る。大会の成功を祈らずにはいられない。運営をバックアップする東大阪商工会議所では、中学時代のチームメイトが準備に奔走。W杯のPR費用を上面するため、ラグビーのまち東大阪基金」を設立したという。ちなみに18年未まで5万円以上寄付した人は、改修後の「花園」にネームプレートを掲出してくれるそうだ。

大好きなラグビーが自分を支え、開業地域の活性化にも寄与する。ラグビーの楳縁球がつながる「楳縁」をこれからも大切にしたい。

絵 藤田 進 (河内長野市)

ラグビーの放言を朝鮮に要求するアプローチを取ることになったのではないかと。強く反対してこなかった。

その対応が変化した最大の理由はトランプの対朝鮮政策だ。金政権の転覆を目的とはしない、核を放棄させることが目的だとする対朝鮮政策をまとめ、米中首脳会談で持ち出した。習近平中国共産党総書記はその政策に可能性を見いだし、「政權の存続を保障することを見返りとして、核ミサイル

でも金政権からすれば、簡単に対米認識を改められるはずがない。それが中朝関係の緊張の最大原因だ。

事態が変化する中、日本政府が求められる対応は？

2002年の平壤宣言のラインまで立ち戻ることだ。安倍政権は事あるごとに「拉致問題の解決なくして国交正常化なし」と言ってきたが、これがま

和と安定を望む点では同じ。トランプ政権も損得勘定で得にならない戦争は今や望んでいない。ところが安倍政権だけは別。朝鮮半島に軍事的緊張が続くことを期待し、それを奇貨として憲法改悪を進めたいという本音がある。このままでは、米中韓が朝鮮との対話路線にかじを切った時、独り日本だけが取り残されるといふ事態になりかねない。それは、安倍政治に引導を渡すことが早まるという意味では客観的にはいいことだが、日本が世界的に物笑いになるということであり、主権者である私たち一人ひとりの判断力が問われているということでもある。(おわり)

卒業後、ケガが伴うラグビーを意図的に避けた時期があった。そのせいか、精神的に病んでしまった。ラグビーがストレスの発散や元気の源になっていたことを身をもって知り、ピッチから離れたことを悔やんだ。

その後、東大阪で開業し、ラグビーとの距離が再びぐんと近づいた。今では正月はほぼ毎日、全国高校ラグビーの観戦で「花園」に通い続けている。ラグビーつながりの集まりがあれば出来るだけ参加し、仲間と楽しい時間を過ごしている。

ラグビーワールドカップ(W杯)が2019年に「花園」で開催されることになり、私の胸は躍る。大会の成功を祈らずにはいられない。運営をバックアップする東大阪商工会議所では、中学時代のチームメイトが準備に奔走。W杯のPR費用を上面するため、ラグビーのまち東大阪基金」を設立したという。ちなみに18年未まで5万円以上寄付した人は、改修後の「花園」にネームプレートを掲出してくれるそうだ。

大好きなラグビーが自分を支え、開業地域の活性化にも寄与する。ラグビーの楳縁球がつながる「楳縁」をこれからも大切にしたい。

## 協会行事案内

女性医師・歯科医師の会  
**親之又楽を楽しむ会**  
 日時 7月30日(日) 午前11時〜午後1時30分  
 会場 国立文楽劇場(地下鉄「日本橋」駅7号出口から徒歩1分)  
 演目 「金太郎の大ぐも退治」「赤い陣羽織」  
 会費 大人3800円、学生2千円、18歳以下1500円  
 ※終了後、桐竹勘十郎さんの舞台裏見学を行います

大阪府西部地区講習会  
**要介護高齢者の訪問歯科とオーラルフレイル**  
 日時 7月22日(土) 午後6時〜8時  
 会場 OMMビル2階 205会議室  
 講師 吉田春陽氏(守口市開業)  
 会費 会員無料、未入会者1万円 定員 50人

女性医師・歯科医師の会  
**保険治療で「こま」までできる審美的歯冠修復治療**  
 日時 8月6日(日) 午前10時〜午後1時  
 会場 M&Dホール  
 講師 末瀬一彦氏(一社・日本デジタル歯科学会理事)  
 会費 会員無料、未入会者1万円

サマーセミナー2017 市民公開講座  
**カジノ幻想〜大阪経済が成長する〜という嘘**  
 日時 8月20日(日) 午後1時〜3時  
 会場 M&Dホール  
 講師 鳥畑与一氏(静岡大学人文社会科学部教授)  
 会費 会員・スタッフ・家族無料 定員 100人

2017 税務調査対策セミナー(医科・歯科共催)  
**税務調査をめぐる最近の動向と日常の留意点**  
 日時 8月26日(土) 午後3時〜5時  
 会場 保険医会館5階  
 講師 疋田英司氏(協会医業税理士団副団長)  
 会費 会員・家族無料 定員 50人

女性医師・歯科医師の会  
**国境なき医師団黒崎伸子先生が語るいのちの話、世界の話**  
 日時 9月2日(土) 午後2時〜5時  
 会場 M&Dホール  
 講師 黒崎伸子氏(国境なき医師団会長・外科医)  
 会費 無料  
 定員 100人

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です  
 ※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

本代表に選ばれた後輩もいる。私の誇りだ。古い伝統を有する大阪歯科大学のラグビー部では、さらに多くの素晴らしい先輩や後輩とも出会い、支え合い、自分を高められた。今でも付き合っている。

和と安定を望む点では同じ。トランプ政権も損得勘定で得にならない戦争は今や望んでいない。ところが安倍政権だけは別。朝鮮半島に軍事的緊張が続くことを期待し、それを奇貨として憲法改悪を進めたいという本音がある。このままでは、米中韓が朝鮮との対話路線にかじを切った時、独り日本だけが取り残されるといふ事態になりかねない。それは、安倍政治に引導を渡すことが早まるという意味では客観的にはいいことだが、日本が世界的に物笑いになるということであり、主権者である私たち一人ひとりの判断力が問われているということでもある。(おわり)

卒業後、ケガが伴うラグビーを意図的に避けた時期があった。そのせいか、精神的に病んでしまった。ラグビーがストレスの発散や元気の源になっていたことを身をもって知り、ピッチから離れたことを悔やんだ。

その後、東大阪で開業し、ラグビーとの距離が再びぐんと近づいた。今では正月はほぼ毎日、全国高校ラグビーの観戦で「花園」に通い続けている。ラグビーつながりの集まりがあれば出来るだけ参加し、仲間と楽しい時間を過ごしている。

ラグビーワールドカップ(W杯)が2019年に「花園」で開催されることになり、私の胸は躍る。大会の成功を祈らずにはいられない。運営をバックアップする東大阪商工会議所では、中学時代のチームメイトが準備に奔走。W杯のPR費用を上面するため、ラグビーのまち東大阪基金」を設立したという。ちなみに18年未まで5万円以上寄付した人は、改修後の「花園」にネームプレートを掲出してくれるそうだ。

大好きなラグビーが自分を支え、開業地域の活性化にも寄与する。ラグビーの楳縁球がつながる「楳縁」をこれからも大切にしたい。

絵 藤田 進 (河内長野市)

ラグビーとの出会いは物心ついたころ。生まれてすぐと言っても過言ではない。父は大学時代にラグビー部に属していた。家のテレビではラグビー番組があると必ずチャンネルがセットされていた。東大阪の花園ラグビー場にも小学校入学前

ラグビーの放言を朝鮮に要求するアプローチを取ることになったのではないかと。強く反対してこなかった。